



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学 TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,772	9.0	714	20.9	788	15.5	516	10.9
2020年3月期第2四半期	16,230	14.9	902	32.9	933	33.8	579	38.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 694百万円 (15.9%) 2020年3月期第2四半期 598百万円 (18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	81.04	
2020年3月期第2四半期	90.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	30,942	18,640	60.2
2020年3月期	32,386	18,270	56.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 18,640百万円 2020年3月期 18,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		51.00	66.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				44.00	59.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 37円00銭 記念配当 7円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	8.2	1,650	22.1	1,750	19.8	1,100	20.7	172.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,615,070 株	2020年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	247,468 株	2020年3月期	247,458 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,367,609 株	2020年3月期2Q	6,367,665 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な流行に収束の兆しが見えず、個人や企業の活動が制限されたことにより、個人消費や生産活動が停滞し、企業業績にも大きな影響を及ぼしました。また、米中貿易摩擦の激化により世界経済の不確実性が高まる等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は14,772百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は714百万円（前年同期比20.9%減）、経常利益は788百万円（前年同期比15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、新型コロナウイルスの流行に伴う需要の低迷、納期遅延、中古機械相場の下落等が見られる一方、熊本地区を中心に発生した令和2年7月豪雨の復旧工事への動きがはじまる中、販売部門においては取引先のニーズに的確に対応しながら、利益率の高い商品の販売や既存取引先の需要の掘り起こしに努めてまいりました。また、レンタル部門においては、災害復旧工事に対応するためレンタル機械の設備投資を実施するとともに、民需、官需の取り込みに注力してまいりました。しかしながら、取引先の投資マインドの低下により全体の案件数が減少したことから、売上高は5,691百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント利益は465百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、新型コロナウイルスの流行に伴う生産活動の停滞や米中貿易摩擦の影響により、分野によっては生産計画や経営戦略の見直しを迫られる等、厳しい状況で推移する中、感染対策を講じた上で国内の客先訪問を徐々に再開するとともに、回復の兆しが見えはじめたロボット関連や半導体等の一部の市場を中心に提案営業を強化してまいりました。しかしながら、取引先の設備計画の延期や中止が相次いだこと等により、売上高は8,823百万円（前年同期比4.6%減）となりましたが、経費の圧縮に努めた結果、セグメント利益は428百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域において、新型コロナウイルスの影響が徐々に顕在化し、工事着工の遅れや凍結等の動きが見られる中、民間工事の大口案件を着実に取り込むとともに、継続して護岸工事等の公共工事の受注獲得に努めてまいりました。この結果、売上高は257百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は47百万円（前年同期比119.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

資産は、前連結会計年度に比べ1,444百万円減少(4.5%減)し、30,942百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が1,365百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,224百万円、電子記録債権が744百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ1,813百万円減少(12.8%減)し、12,302百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,671百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ369百万円増加(2.0%増)し、18,640百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が201百万円、利益剰余金が191百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.2%と前連結会計年度に比べ3.8ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ1,365百万円増加(22.9%増)し、7,308百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその増減の要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は2,309百万円(前年同期は1,143百万円の増加)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、仕入債務の減少による資金の減少が少なかったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は804百万円(前年同期は493百万円の減少)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は133百万円(前年同期は759百万円の減少)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、短期借入金による資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年10月19日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりであり変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,948	7,314
受取手形及び売掛金	9,616	7,392
電子記録債権	2,558	1,813
貸貸料等未収入金	712	617
商品及び製品	2,903	2,461
仕掛品	56	62
原材料及び貯蔵品	9	5
その他	521	757
貸倒引当金	△440	△413
流動資産合計	21,887	20,013
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	5,757	5,904
その他（純額）	2,647	2,641
有形固定資産合計	8,405	8,546
無形固定資産		
のれん	37	27
その他	50	49
無形固定資産合計	87	77
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,990
その他	326	327
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	2,006	2,305
固定資産合計	10,499	10,928
資産合計	32,386	30,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,863	8,192
短期借入金	1,000	1,334
1年内返済予定の長期借入金	66	33
リース債務	481	457
未払法人税等	300	249
賞与引当金	322	262
役員賞与引当金	61	20
割賦利益繰延	201	184
その他	851	481
流動負債合計	13,147	11,215
固定負債		
その他の引当金	407	412
退職給付に係る負債	357	361
その他	203	312
固定負債合計	968	1,086
負債合計	14,116	12,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	15,660	15,851
自己株式	△231	△231
株主資本合計	17,625	17,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	779
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	66	43
その他の包括利益累計額合計	644	823
純資産合計	18,270	18,640
負債純資産合計	32,386	30,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,230	14,772
売上原価	13,385	12,246
差引売上総利益	2,844	2,525
割賦販売未実現利益戻入額	69	51
割賦販売未実現利益繰入額	39	35
売上総利益	2,875	2,542
販売費及び一般管理費	1,972	1,828
営業利益	902	714
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	3	11
貸倒引当金戻入額	18	25
その他	18	34
営業外収益合計	65	94
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	23	11
その他	0	0
営業外費用合計	34	19
経常利益	933	788
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	25	0
特別利益合計	25	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	953	790
法人税、住民税及び事業税	301	250
法人税等調整額	73	23
法人税等合計	374	274
四半期純利益	579	516
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	579	516

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	579	516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	209
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△22	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△8
その他の包括利益合計	19	178
四半期包括利益	598	694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	598	694
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	953	790
減価償却費	718	779
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	97	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△61	△59
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	4
受取利息及び受取配当金	△23	△22
支払利息	10	8
持分法による投資損益(△は益)	△3	△11
固定資産除売却損益(△は益)	0	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	△25	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,381	3,049
たな卸資産の増減額(△は増加)	458	434
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,841	△1,668
その他	△26	△706
小計	1,658	2,577
利息及び配当金の受取額	43	30
利息の支払額	△11	△7
法人税等の支払額	△546	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,143	2,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△710	△897
有形固定資産の売却による収入	184	105
無形固定資産の取得による支出	△7	△11
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	44	1
貸付金の回収による収入	0	—
その他の支出	△3	△5
その他の収入	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493	△804
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4	339
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△250	△114
長期借入金の返済による支出	△116	△33
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△388	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△759	△133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△111	1,365
現金及び現金同等物の期首残高	4,407	5,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,295	7,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	6,738	9,250	242	16,230	—	16,230
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	22	—	40	△40	—
計	6,755	9,272	242	16,270	△40	16,230
セグメント利益	714	375	21	1,111	△208	902

(注) 1 セグメント利益の調整額△208百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,691	8,823	257	14,772	—	14,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	8	—	33	△33	—
計	5,716	8,832	257	14,805	△33	14,772
セグメント利益	465	428	47	942	△227	714

(注) 1 セグメント利益の調整額△227百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。